

事務事業チェックシート

事務事業No 381 事業名 歯科保健事業(歯周疾患健診)

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	1	市民の健康づくりへの支援

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		成人保健対策費
	大事業		成人保健対策事業
	事項		歯周疾患健診

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	永年	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	川口隆弘 (488-5119)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防するため	健康増進法に基づき、満40歳、50歳、60歳、70歳の市民を対象に「節目検診」として、和歌山県内の歯科医院において歯周疾患健診を実施(和歌山県歯科医師会に業務委託)周知については、年度当初4月の市報わかやま「健康事業のお知らせ」の成人事業、各種検診として広報している。また、40歳に到達した方へ「健康手帳」の送付時にも、がん検診とあわせて周知している。対象者は、自己負担はなく各自県内の医療機関(歯科医院)で直接受診する。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	・満40、50、60、70歳になる年に1回ずつ、県内の実施歯科医院で歯周疾患健診を行う。 ・年度始めに市報にて、成人保健事業の案内のなかで歯周疾患健診の案内を掲載。 満40歳の健康手帳対象者に案内を同封し勧奨。	・満40、50、60、70歳になる年に1回ずつ、県内の実施歯科医院で歯周疾患健診を行う。 ・年度始めに市報にて、成人保健事業の案内のなかで歯周疾患健診の案内を掲載。 満40歳の健康手帳対象者に案内を同封し勧奨。	・満40、50、60、70歳になる年に1回ずつ、県内の実施歯科医院で歯周疾患健診を行う。 ・年度始めに市報にて、成人保健事業の案内のなかで歯周疾患健診の案内を掲載。 満40歳の健康手帳対象者に案内を同封し勧奨。	・満40、50、60、70歳になる年に1回ずつ、県内の実施歯科医院で歯周疾患健診を行う。 ・年度始めに市報にて、成人保健事業の案内のなかで歯周疾患健診の案内を掲載。 満40歳の健康手帳対象者に案内を同封し勧奨。	・満40、50、60、70歳になる年に1回ずつ、県内の実施歯科医院で歯周疾患健診を行う。 ・年度始めに市報にて、成人保健事業の案内のなかで歯周疾患健診の案内を掲載。 満40歳の健康手帳対象者に案内を同封し勧奨。

2 事業コスト

事業費等 千円			平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		5,742	5,828	6,427	4,527	6,251		6,251		6,251	
	伸び率(%)		-	-	11.9%		-2.7%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員		4,085	4,085	3,616	3,616		3,616		3,616	
		非常勤職員		0	0	0	0		0		0	
		小計		4,085	4,085	3,616	3,616		3,616		3,616	
	国庫支出金											
	県支出金		3,824	3,885	4,279	2,630	2,974		2,974		2,974	
	市債											
	その他											
一般財源(税等)		1,918	1,943	2,148	1,897	3,277		3,277		3,277		
所要人数	常勤職員		0.54	0.54	0.49	0.49		0.49		0.49		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		0		0		
主な予算内訳												

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	受診者数	年度目標値			1,195	1,300				
		実績値			1,213	943				
	単位	人	全体目標値			全体目標達成度				
			年度別達成度			101.5%	72.5%			
	受診率	年度目標値								
実績値										
単位	%	全体目標値			全体目標達成度					
		年度別達成度			5.9%	4.8%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	国が定める健康増進法に基づく事業であり、生活習慣病の予防等にも効果があることから引き続き実施したい。
「見直し」 「改善」案	歯の健康への意識付けの意味もある節目年齢での実施で、重要と考える。